

# 留学報告書

記入日：2025 年 4 月 11 日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2022 年 8 月～ 2024 年 12 月
留学時の学年	3 年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	帰国せずカナダで就職
明治大学卒業予定時期	2025 年 3 月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	Bachelor of Commerce
キャンパスの所在地	3800 Finnerty Rd, Victoria, BC V8P 5C2
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期： 1 月～ 4 月（期末試験期間：4 月 ） 秋学期： 9 月～ 12 月（期末試験期間： 12 月 ）
所属学部の学生数	1,000
留学生の割合	20%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料	\$76,100	7,610,000 円	
宿舍費	\$14,400	1,440,000 円	一ヶ月：\$900, 3 人とルームシェア（4*4, 16 月）
食費	\$6,400	640,000 円	一ヶ月：\$400、自炊して節約した場合
通学費	\$0	0 円	一ヶ月：\$0、バス代は学費に含まれている
学校用品	\$1,000	100,000 円	教科書
教養・娯楽費	\$3,200	320,000 円	（月）2 万円くらい使った場合
被服費	\$1,000	100,000 円	服
医療費	\$0	0 円	保険で支払い
保険費	\$1,200	120,000 円	保険会社：MSP、主政府保険に加入。義務。
渡航費	\$1,400	140,000 円	一回往復できる費用
旅行費	\$3,000	300,000 円	留学中に旅した国：アメリカ
語学学校	\$0	0 円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金	-\$31,000	-3,100,000 円	奨学金：-\$3,000 助成金：-\$28,000（2 回）
その他		円	
合計	76,700	7,670,000 円	

渡航について
1) 航空券を購入した時期

<input type="checkbox"/> 留学先へ出願後 <input type="checkbox"/> 入学許可書受領後 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ取得後 <input type="checkbox"/> 出発直前 <input type="checkbox"/> その他 (                      )	
2) どのように購入しましたか？	
ネットで一番安い航空券を購入。	
3) 渡航経路を教えてください。	
(往路)   仁川   空港－   バンクーバー   空港 (経由) －   ヴィクトリア国際空港 (復路)   バンクーバー   空港   －   仁川   空港	
4) 航空券代金	
利用航空会社: Air Canada 往路: \$700 復路: \$700 合計: \$1,400	
5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。	
できれば早めに航空券を購入してください。韓国を経由する場合は料金が安くなることがあります。なお、ビクトリアへの直行便はないため、バンクーバーで乗り継ぐ必要があります。初めての渡航時は、道に不慣れなため、飛行機でバンクーバーを経由する方法をおすすめします。慣れてきたら、フェリーを利用してバンクーバーとビクトリア間を移動することも可能です。	
<b>留学中の滞在先について</b>	
1) 種類 (留学中の滞在先)	
<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数:   3        )	
3) 住居の探し方	
<input type="checkbox"/> 留学先機関が斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探す	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)	
利用交通機関	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
通学時間 (片道)	15 分
5) 滞在中の食事について	
<b>【平日】</b> 朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (                      ) 昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (カフェテリア) 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>【休日】</b> 朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (                      ) 昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (                      ) 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)	
UVic の新しい寮はとても快適でおすすめです (※ただし、古い寮はあまりおすすめできません)。寮には共有キッチンしかなく、自炊が難しい環境です。そのため、基本的にはカフェテリアで食事をとることになりますが、正直あまり美味しくありません。料理ができる方であれば、自炊をおすすめします。 また、アジア系の食材や和食は手に入りにくいので、好みに合う食品を購入するにはダウントウンまで行く必要があります。私の周囲の寮生も、食事に関しては多くの苦勞をしていました。交通についてですが、ビクトリアではバスのみが公共交通で、運行時間が不規則なこともあります。乗り換えも複雑なため、可能であれば UVic とダウントウンの両方に直通で行ける 4 番や 28 番のバスが通るエリアで住居を探すと便利です。また、スーパーや食料品店が近くにあるかどうかも重要なポイントです。ビクトリアはのんびりとした雰囲気のある地域で、やや田舎に感じるかもしれませんので、その点にもご注意ください	

## 現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか？

☒はい（利用機関名：Uvic Hospital） ☐いいえ

2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？

☒はい ☐いいえ ☐わからない

3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？

University Security

4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？

☒はい   ☐いいえ   ☐わからない

5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？

## 情報収集

☒現地コーディネーター    ☐友人    ☐ネット（参考サイト： ）  
☐その他（ ）

## 防犯対策

犯罪はほぼありません。しかし、夜のダウントウンは危険です。

6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？

☐はい ☒いいえ

7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？

8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？

パソコン

日本で購入

# インターネット

## 現地の会社

携帯電話

現地の会社 - Rogers, Telus, Koodo をお勧め

9) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。

現地では銀行口座を開設し、日本の親から送金してもらっていました。緊急時にはクレジットカードで現金を引き出すことも可能です。

カナダで銀行口座を開設するには、\*\*SIN (Social Insurance Number) \*\*や携帯電話番号が必要になりますので、事前に準備しておくことをおすすめします。

※SIN とは、政府や銀行などで本人確認を行う際に使用される個人識別番号です。

10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。

薬、化粧品、服、食べ物など

## 進路について

### 1) 進路

☒就職 ☒進学 ☐未定 ☐その他 ( )

2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？

カナダで会計士を試みるつもりです。UVic の会計学と財務学が面白かったです。

3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。

内定時期

未定。

企業名

会計士プログラムの授業を聞きながら就職先を探しています。

業界

會計、財務

その企業或いは 業界を選んだ理由	数字には正解があつて、迷わなくてもいいこと。
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
<p>【日本に帰国する場合】</p> <p>私は外国人なので日本に帰国しませんでした。UVic に通う日本人学生の多くは「Boston Career Forum」に参加し、日本の外資系企業を目指す傾向があります。実際に多くの学生が有名企業に内定をもらっています。毎年秋頃に開催されますが、少なくとも 1 年前から準備を始めるのがおすすめです。</p> <p>【カナダに残る場合】</p> <p>卒業後は**PGWP (Post-Graduation Work Permit) **というビザに申請することができ、最大 3 年間カナダで働くことが可能です。また、1 年以上の就労経験を積むと、Express Entry を通じて永住権の申請資格を得ることもできます。</p> <p>3 年生の夏には**Co-op (就業体験プログラム) **を行うことになりますが、多くの場合、ここで関心のある業界に就職するきっかけをつかみます。Co-op 終了後にそのまま Job Offer をもらうケースも珍しくありません。通常、Co-op は 2 回行われますが、就職活動の本番だと考えて真剣に取り組むべきです。</p> <p>なお、カナダでの就職活動は日本と異なり、LinkedIn や Indeed などのオンラインプラットフォームを活用するのが一般的です。ネットワーキングやレジュメ (履歴書) の書き方にも違いがあるため、早めに情報収集を始めておくとうまくいきます。</p>	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	4 年
進学先	CPA School of Western Business (カナダ西部会計士協会)
その進学先を選んだ理由	会計士養成プログラムを主観する機関です。(Professional Education Program)
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします (試験対策など)。	
予め用意することが一番大事です。選考に一年以上かかる時もあります	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	

## 留学に関するタイムチャート

2021年1月～12月	経営学の宮田先生の授業中に、ビクトリア大学 (UVic) とのダブルディグリープログラムの存在を知りました。それをきっかけに、TOEFL のスコア取得、志望理由書の作成、留学志望者向けの山下佳江先生のゼミへの参加、情報収集など、選考に必要な準備を進めました。
募集要項公開～選考試験日	もともと留学を希望していたため、すべての学期においてプル単位が修得できるように履修し、GPA3.0 以上を維持すること、そして TOEFL で全セクション 90 点以上を目指して学習に取り組みました。特に Speaking と Writing の対策には多くの時間をかけました。また、UVic での学びに備えるため、8 月に実施される 1 か月間の短

	<p>期プログラム「ISIBM」にも参加を決めました。このプログラムは、現地での学習を円滑に始めるための良い予習になると考えたためです。</p>
<p>2022年1月～4月</p> <p>合格発表後～出願準備期間</p>	<p>Great の先生方やゼミの先生のご指導のおかげで、無事にダブルディグリープログラムに合格することができました。その後、カナダへの留学に向けて Study Permit（学生ビザ）の申請準備を進めました。</p> <p>申請時には、2年以上有効な Study Permit に加え、Work Permit（就労許可証）を取得することが重要です。これは、異なる種類のビザを2枚所持する形となります。Work Permit は、カナダで有給の Co-op（就業体験）を行う際に必要であり、卒業までに3回の Co-op が必須となっています。</p> <p>ビザ申請には、残高証明書の提出、健康診断、指紋採取などが必要となる場合があります。手続きに時間がかかるため、UVic から Official Letter（公式受入通知）が届き次第、速やかにビザ申請を行うことをおすすめします。ビザの承認まで、最長で5か月ほどかかることもあります。</p> <p>最近、留学に対する規制が行われ、書類の手続きが複雑になりました。UVic のビザの部署と連絡をし、Letter をもらい次第、できれば早くビザの申請を行ってください。</p> <p>IRCC（カナダ移民省）のホームページで Processing Time を探してみると、ビザの取得までかかる時間を分かります。</p> <p>Temporary Visa - Apply from outside of Canada - Study Permit - Japan</p> <p>必ず早めに用意してください。</p> <p>（なお、3回の Co-op のうち、日本国内で420時間以上の就業経験がある場合、「Co-op チャレンジ」を申請することで1回分が免除される制度があります。日本でアルバイトやインターンシップ等の経験がある方は、UVic のアドバイザーに相談してみてください。この制度を活用すると、卒業時期が8月となり、明治大学の9月卒業および秋入社にタイミングを合わせることが可能です。）</p> <p>（また、卒業後にカナダで就労を希望し、PGWP（Post-Graduation Work Permit）を申請する場合、3回の Co-op をすべてカナダ国内で行うのが望ましいとされています。ただし、制度は毎年変更されることがありますので、UVic の Immigration Department やカナダ移民省（IRCC）の最新情報を必ず確認してください。この時期に、自身に合った進路や選択肢を広く検討し、積極的に情報収集を行うことが大切です。）</p> <p>ビザが取得できた後、渡航に向けて航空券を手配しました。</p>
<p>2022年5月～7月</p> <p>出願後～渡航の準備</p>	<p>ビザが承認された後は、学費の振込やカナダの住居の契約、ISIBM への参加準備などを進めました。また、渡航に向けて航空券の予約を行い、明治大学の海外留学保険への加入手続きも完了させました。そのほか、現在住んでいる家の退去手続きや、日本国内の保険の解約など、出発前に必要な準備を一つひとつ進めました。</p> <p>出発までの残された時間には、現地で実際に使える英語力を身につけるための学習にも力を入れました。特に日常会話や実用的な表現を中心に練習を重ねました。</p>

	さらに、カナダの地理や政治、経済についても大まかに学習し、留学生活にスムーズに適應できるよう心がけました。
2022年7月 留学開始直前	日本を出国し、カナダへの渡航にあたり一時帰国を経て出発しました。荷物はスーツケース2つにまとめ、その他の荷物は事前に船便で送付しました。冬服や食品などは船便にて送り、9月に現地で受け取りました。
2022年8月 留学開始 (ISIBM)	<p>ビクトリア大学 (UVic) で実施される短期プログラム「ISIBM」にも参加しました。約1か月間のプログラムを通して、UVicでの授業スタイルやカナダでの生活環境に慣れることができました。</p> <p>ISIBM開始の5日前にカナダに到着し、生活の基盤を整えるために、SINナンバー（個人識別番号）の取得、携帯電話の契約、銀行口座の開設、MSP（ブリティッシュコロンビア州の医療保険）の申請などを行いました。また、現地での住居探しも同時に進めました。</p> <p>ISIBM終了後は、本格的な留学生活に向けて引っ越しや登校の準備を行いました。シラバスの確認、教科書の入手、UVicの学習システムに慣れることなど、学期開始に向けた準備も着実に進めました。</p>
2022年9月～ 2023年8月 留学中 (3年、Core Year、 Summer Coop)	<p>9月から12月まではFall Semester、1月から4月まではWinter Semesterとして、BCom（商学部）のCore Yearを過ごしました。この期間中に、会計、人事、財務、生産管理、国際経営、環境経営、AIなど、経営学の基礎となる主要な科目を一通り学びました。</p> <p>学習量は明治大学での授業と比べておよそ2倍に感じられ、期末試験やグループワーク、レポートの作成など、すべてが英語で行われる中での学習は非常に大変でした。慣れない環境の中で、とにかく「生き残ること」が最優先の目標となっていました。</p> <p>それでも、この期間に経営学の中核をなす各分野を体系的に学ぶことができ、それぞれの知識がどのように関連し合っているかを深く理解することができました。学びを通して、自分の進路について考えるきっかけにもなり、視野を大きく広げる貴重な経験となりました。こうした経験を通じて、今後は会計や財務の専門性を高め、将来的にはグローバルに活躍できるプロフェッショナルを目指したいと考えるようになりました。</p> <p>また、学業以外にも大学のクラブ活動に参加したり、夏に行われるCo-op（就業体験）への応募を行ったりと、キャンパスライフを積極的に楽しむよう努めました。</p> <p>夏のCoopは競争が激しいです。留学生はカナダでの経験がないため、受かることが難しいです。留学生の中には英語ができなくて、飲食店に就職する場合もありました。</p> <p>夏のCoopは、9月から応募することができます。12月が締め切りです。</p> <p>UVicでの生活を楽しむことももちろん大切ですが、夏のCoopを見据えて準備を進めないと卒業ができなくなります。</p> <p>9月にUVicについて、レジュメの作成やバイトを探すなど、夏のCOOPを備える準備したらよかったと思います。</p> <p>実際に、留学生の半数は母国に帰ってCoopをして戻ってきます。</p> <p>卒業後、日本に戻って就職をする予定だったら、2回のCoopを全部日本にした方がいいと思います。カナダで就職したい場合は、カナ</p>



	<p>ダの企業で Coop をする必要があります。</p> <p>つまり、Linkedin、カナダスタイルのレジュメの作成などを、カナダに来る前に行うことをおすすめします。</p> <p>一回目の Coop は、仕方なく、母国である韓国でやりました。</p> <p>5月から8月までは、Summer Co-op（夏季就業体験）に参加するとともに、CFA（米国証券アナリスト）レベル1の学習にも取り組みました。</p>
<p>2023年9月～ 2024年8月</p> <p>留学中</p> <p>（4年、Coop）</p>	<p>9月から12月までは Fall Semester として、4年次の最初の学期を迎えました。私は将来会計士を目指しているため、専攻を Non-Specialization に設定し、会計や財務に特化した科目を中心に履修しました。</p> <p>4年次では、3年次の必修科目と異なり、自分の関心や進路に合わせて履修科目を自由に選ぶことができます。そのため、学習内容がより実践的で、自分の興味に沿った学びができた分、精神的な負担も少なく、取り組みやすい学期だったと感じています。</p> <p>また、私は Co-op Challenge の申請をしていなかったため、2回分の Co-op（就業実習）が残っていました。そのため、2024年1月から8月までの期間に、現地の会計事務所で2回分の Co-op を行いました。ちょうど会計業界で人手不足が課題となっていた時期であったこと、そして自分のキャリアプランを明確にし、早めに応募して準備を進めていたことが、スムーズに就業できた要因だったと思います。</p>
<p>2024年9月～ 2024年12月</p> <p>留学中</p> <p>（4年、卒業）</p>	<p>9月から12月までは Fall Semester として、4年次の最後の学期を迎えました。この学期では、会計士としての認定に必要な科目を履修し、就職活動の準備を進めました。その結果、バンクーバーにある会計事務所に内定をもらうことができ、12月にすべての授業が終了した後に引っ越しをしました。</p> <p>UVic では他の学校で取得した科目を認定してもらえる制度があるため、Thompson Rivers University で中級会計を履修し、その単位を UVic にトランスファーしました。</p>
<p>2025年1月</p> <p>留学終了 （カナダ滞在）</p>	<p>留学当初は日本に戻るつもりでしたが、外国人としての立場では競争が厳しく、自分に武器がないと感じたため、カナダでの経験を積もうと考えました。また、英語に自信がなかったこともあり、会計や財務は北アメリカが中心であるため、こちらで経験を積むことが有利だと考えました。その結果、日本の会計士を目指すのは難しいと判断し、アメリカの会計士資格を目指すことにしました。具体的には、カナダの会計士資格を取得し、その後アメリカの資格に変更する予定です。</p> <p>「Boston Career Forum」に参加することも考えましたが、日本語で他の優秀な日本の学生たちと競争するのは難しいと感じました。一方、カナダは多文化共生の国であり、そのような負担が少ない点が魅力的でした。</p> <p>UVic にいた日本人の留学生の多くがこの Boston Career Forum に参加し、ここでみんな大企業に内定をもらいました。</p> <p>これは、アメリカの Boston で11月頃に行われる Career Forum です。同じ年の2月から書類の受け付けがあります。テストなどの準備などもこの時期に行ってください。</p> <p>外資のみならず、金融など、日本での就職には、必須だと思います。情報力が一番大事だと思います。</p>

	<p>そのため、アメリカの会計士資格を取得し、経験を積むために少なくとも5年はカナダに滞在することを決めました。将来的には母国である韓国に戻ることも選択肢として考えています。また、移民の選択肢も視野に入れています。</p> <p>個人的には日本ほど住みやすい国はないと感じており、そのためカナダに滞在する判断は非常に悩みました。しかし、カナダで会計士として成功すれば、世界どこでも通用するスキルを身につけられると考え、その可能性に賭けて滞在することを決めました。</p>
--	---

## 留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
<p>私は、経営学部のデュアルディグリー・プログラムに参加しました。このプログラムは、明治大学経営学部での2年半と、カナダ・ビクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2年半、計5年間の学びを通じて、経営学士と商学士の2つの学位を取得できるものです。</p> <p>留学を決意した理由は、まず英語力を実践的に養いたかったからです。TOEFLなどの資格試験の勉強だけでは限界があると感じ、現地で生活や学びを通して、より自然な形で英語を習得したいと考えました。英語は世界で最も広く使われている言語であり、将来のキャリアにおいて大きな武器になると判断しました。</p> <p>また、アジア圏ではなく西洋で学ぶことにも強く惹かれました。教育スタイルや価値観の違いを肌で感じ、特にディスカッションが活発で、学生と教授が互いに尊重し合いながら意見を交わす授業スタイルに魅力を感じました。さらに、IFRS（国際財務報告基準）など、アジアでは学ぶ機会が限られる国際基準の会計について深く学べる点も、非常に魅力的でした。</p> <p>なお、留学は「今しかできない挑戦」だと考えました。就職後は業務の都合で海外留学の機会が限られ、年齢を重ねるごとにハードルが高くなると感じたため、若く、体力や適応力のある今こそ挑戦するべきだと判断しました。</p> <p>最後に、北米の学位を取得できることも大きな魅力でした。University of Victoriaの商学士を取得することで、将来的にカナダでの永住権申請や、他の西洋諸国での就職にも有利になると考えました。</p>	
語学について	
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名：                      ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	<p>英語の学習は、デュアルディグリー・プログラムを成功させる上で最も重要な要素の一つです。留学先では、週に40ページにわたる英語のレポートを作成し、毎日6時間以上の講義を英語で受講します。交換留学生ではなく、現地の正規学生として同じ条件で学ぶため、高度な英語力が求められます。</p> <p>TOEFLの出願要件としては、90点以上かつ各セクション20点以上という基準が設けられていますが、実際の留学生活では、それ以上の英語力が必要になります。特にWritingやSpeakingについては、試験でのスコアと実際のコミュニケーションにおける難易度に大きな差があります。TOEFLのスコアは、あくまで基礎的な英語力にすぎず、実践的な場面では必ずしも役に立つとは限りません。とはいえ、TOEFLで90点を目指すことは十分に可能です。これは特別な才能よりも、どれだけ勉強時間を確保し、徹底的に準備したかによる部分が大きいと感じています。できる限り早い段階、例えば大学1年生の夏から英語学習に取り組むことを強くおすすめします。</p> <p>UVicでCoopを2回して卒業したい場合、新入生と二年の夏休みの時に420時間以上の仕事、またはインターンシップをしたらいいと思います。バイトでも構いません。</p> <p>または、パートタイムで420時間以上することもできます。UVicのホームページに情報が 있습니다。</p>



	<p>UVic 入学の後、Coop Challenge を申し込んで Coop を 2 回して卒業することができるようになります。</p> <p>卒業する時期によって、卒業後、日本で入社する時期に大きく影響することがあると思います。この場合に UVic は 9 月卒業になります。</p> <p>自分は 3 回の Coop を全部 UVic でしたため、1 月卒業になりました。日本では 3 月卒業です。</p> <p>Reading と Listening は、TOEFL で各 25 点程度あれば授業についていくには十分だと思います。一方で、Writing と Speaking はたとえ満点を取っていても、実際の会話やプレゼンテーションでは苦勞する場面が多くありました。TOEFL で RC (Reading)、LC (Listening) 25 点、SPK (Speaking)、WRT (Writing) 20 点を取り、合計 90 点を超えるだけでも十分です。その後は、テスト対策よりも、会話やフォーマルな英語、発表で使える表現など「実践で使える英語」に集中することをおすすめします。私はアメリカのドラマを見て、登場人物の話し方や表現を真似しながら勉強しました。こうした学習法は、自然な英語表現を身につけるのにとても役立ちました。表現は丸ごと覚えて、すぐに使えるくらいまで慣れることが大切です。英語の文章を考えてから話すのではなく、状況に応じて自然に口から出てくるレベルを目指す、実際の会話でもスムーズに対応できるようになります。</p> <p>最後に、イントネーションも非常に重要です。どんなに内容が良くても、イントネーションが不自然だと相手にとって聞き取りづらくなってしまいます。ネイティブの話し方を真似しながら、発音だけでなくリズムやトーンにも注意して練習することをおすすめします。</p>
総合的なアドバイス	<p>他には、明治大学で学んだ知識も非常に役立ちました。統計学や経済学など、一度日本語で学んだことがあったため、現地の学生よりも理解が早く、授業についていきやすかったです。留学前にこれらの知識を復習しておくことは重要で、それがあったからこそ、現地の学生に圧倒されることなく、自分の役割を見つけることができました。英語力に不安があっても、専門知識があれば授業を乗り切る助けになります。</p> <p>さらに、留学先の国について事前に知識を持つことも大切です。例えば、カナダは日本と経済構造が異なり、輸出入の多くをアメリカと共有し、資源輸出が GDP の大きな割合を占めています。国土が広いので連邦制を採用しており、各州の行政制度が異なります。また、地域ごとに主要な産業や大手企業が異なるため、地理・社会・経済に関する基礎知識がないと、現地の学生と課題に取り組む際に苦勞することになります。</p>
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
<p>留学先としてカナダを選んだ最上の理由は、英語が公用語であるからです。もともと英語力を身につけることが留学の目的だったため、英語圏で学ぶことが最優先でした。また、以前からアメリカの映画やドラマが好きだったこともあり、文化的にアメリカと近いカナダには親しみを感じていました。自然が豊かで美しい景観の中で学べるという点も、カナダを選んだ大きなポイントです。最後に、多文化社会として知られるカナダは、人種差別が比較的少なく、異なるバックグラウンドを持つ人々とも交流しやすく、安心して生活できると考えました。</p>	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気教えてください。	
大学（キャンパス）	<p>ビクトリア大学は、バンクーバーからフェリーで約 2 時間の距離に位置する、静かで落ち着いた Victoria にあります。人口も少なく、学業に集中するには理想的な環境です。特に商学部（Gustavson School of Business）は少人数制を採用しており、1 学年あたりの学生数は約 400 人程度です。授業では議論が非常に活発で、学生が自由に質問しやすい雰囲気があり、教授との距離も近く、インタラクティブな学びが実現されています。また、チームワークを重視した課題が多く、実践的なスキルを身につけることができます。単に座学にとどまらず、実際のビジネスに近い形で課題に取り組むため、より深い理解が得られる点も魅力です。</p>

学生	キャンパス内ではスポーツ活動も盛んで、学業と健康的なライフスタイルを両立させることができる環境が整っています。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	ビクトリア大学には「Cohort（コホート）制度」という特徴的な仕組みがあります。これは、約4～5人の固定メンバーで1学期すべての授業を一緒に受ける制度で、自然と現地の学生と関わる機会が増えるため、友達を作るきっかけにもなりました。また、部活動も活発で、共通の趣味を通じてさまざまな学生と交流することができました。大学には多様な人種の学生が在籍しており、人種差別を感じることはほとんどありませんでした。カナダの多文化的な社会が、そのような安心感を与えてくれたと感じています。ただし、文化や言語の違いから、深い友情を築くのは簡単ではありませんでした。特に、コミュニケーションのスタイルや価値観の違いにより、関係を深めるには時間と努力が必要でした。それでも、少しずつ相手を理解し、信頼関係を築いていく過程は、自分にとって大きな成長につながったと感じています。
留学生との交流	日本語クラブと韓国人留学生会にたまに参加しました。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
Co-op プログラムに関連した各種セミナーやイベントも充実しています。企業説明会や業界研究のセッション、文化交流を目的としたワークショップ、そして「Pizza Networking Lunch」のような気軽に参加できるネットワーキングイベントも多く開催されていました。	
課外活動について教えてください。	
UVic Environment Engineering という部活に参加し、総務部員として活動しました。また、ハイキングクラブにも所属し、自然の中でのアクティビティを楽しみました。大学全体の規模は明治大学ほど大きくはありませんが、特色のあるクラブやサークルが多く、さまざまな活動や支援が充実していました。	
学業面では、CFA レベル1 に挑戦し、さらに Bookkeeper の資格も取得しました。学業と課外活動の両立は大変でしたが、それぞれの経験がスキルアップにつながりました。	
一日の課題の量を教えてください。	
レポートやクイズなどの課題の量は非常に多く、常に何かに追われている状態でした。特に、先生たちは想像力や独自の視点を取り入れた答案を求める傾向があり、ただ正解を出すだけでは評価が伸びにくいと感じました。最初からはっきりと勉強しておかないと、期末になっては苦勞をする仕組みです。	
期末試験について教えてください。	
期末テストは負担が大きく、3時間にわたる試験もありました。単なる暗記ではなく、しっかりと理解することが求められるため、平均点を取ることはできても、高得点を取るのには難しかったです。	
留学先で直面した困難（壁）について教えてください。	
英語の壁は想像以上に大きく、特にスピーキングが最も難しいと感じました。授業での発表では、鋭い質問が飛んでくることも多く、その場で的確に英語で答えるのは非常に大変でした。語学力だけでなく、瞬時の理解力や表現力も求められます。また、北米での生活経験がほとんどなかったため、現地の常識や文化についていけない場面も多くありました。たとえば、カナダ最大の通信会社である「TELUS」を知らなかったため、授業中のディスカッションについていけなかったことがあり、悔しい思いをしました。さらに、文化の違いに戸惑うこともありました。パーティーなどのカジュアルな場では、会話のスタイルやノリに慣れず、気まずい思いをすることもありました。しかし、そうした経験を通して少しずつ現地の価値観やマナーを学ぶことができました。	
これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。	
知り合いもいない海外での生活は、最初は難しく、孤独や不安を感じることも多々ありました。日本にいれば青春を満喫する時間もあっただけかもしれませんが、それでも「今しかできない経験」を得るために留学を選びました。このような経験を求めているなら、留学は非常におすすめです。特に、国際的に活躍したい人や、向上心を持って成長したい人にとっては理想的な環境です。自分を試し、異文化に触れることで多くの学びを得ることができるので、挑戦する価値は大いにあります。	





履修した授業科目名②	
COM 321 Leading People and Organizations 1 / COM 322 Leading People and Organizations 2	
科目設置学部	BCom
履修期間	2022 年 9 月から 12 月、2023 年 1 月から 4 月
留学先の単位数	1.5、1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回、1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	François Bastien, Brian Leacock
授業内容	<p>This course examines the behaviours of individuals, groups and organizations and the issues associated with managing the employment relationship. Topics include leadership, values, motivation, recruitment and hiring, feedback, communication, conflict management and teams. This course is designed to help you build skills as responsible business leaders who can lead change for a better world throughout your careers. An easy way to think about the differences between LPOI and LPOII is that in LPOI, you're learning about person-to-person interactions, while in the spring you'll be learning about organization-to-environment interactions. Upon completing Leading People and Organizations I, you will be successful in the pursuit of the following aspirations:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Discuss current organizational behaviour (OB) concepts and their relatedness</li> <li>・ Analyze OB concepts critically in their utility, applications, and limitations</li> <li>・ Communicate ideas related to OB, both orally and in writing</li> <li>・ Discover how human behaviour, employee values, and perspectives drive decisions and actions in organizations</li> <li>・ Develop your competence in navigating organizational life using the knowledge gained in this course</li> <li>・ Use your analysis of human behaviour to improve outcomes in real-life organizational situations</li> <li>・ Diagnose and solve organizational problems by integrating course material</li> </ul> <p>COM 322 (LPOII) builds on COM 321 (LPOI) by examining the organizational level of analysis and provides you with a basis for understanding and critically examining complex organizations in contemporary society. On the learning journey, Prof. Dr. Bastien and Prof. Leacock will guide an examination of the interrelationships among the social, cultural, and formal properties of organizations. They will emphasize the analysis of organizational systems for improving integration, adaptation, survival, and effectiveness of organizations, as well as link to the contextual forces in the external environment.</p>
試験・課題など	Participation: 10% Team Assignment: 40% Mid-Term: 20% Final: 30%
感想を自由記入	この授業では、個々の組織の構造や行動を説明する理論や視点、複数の組織間の関係性、さらには組織集団全体の特性を理解するためのさまざまな理論や視点を学びます。Team Assignment の配点が高いです。
履修した授業科目名③	
COM 341 Operations Management	
科目設置学部	BCom
履修期間	2022 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )



授業時間数	1 回 160 分の授業が週 1 回
担当教授	Sarah Zheng
授業内容	<p>This course is designed to address the key operations issues that are strategic as well as tactical implications for service and manufacturing firms. High-performing firms have demonstrated that efficient and effective operations management can become a potent competitive weapon in even the toughest business environments. We will examine both quantitative and qualitative operational techniques and principles used by “world-class” organizations from both the service and manufacturing sectors. Topics include operations strategy, process strategy, process analysis, process mapping and improvement, quality management, forecasting, inventory management, and project management.</p> <p>The course objectives are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Understand core concepts, models and managerial issues in operations management.</li> <li>・ Appreciate the interdependence of operations management and other key functional areas in business organizations.</li> <li>・ Develop the ability to recognize, formulate and analyze business problems/issues related to operations management.</li> <li>・ Apply various quantitative and qualitative techniques to provide solutions to the complex problems in operations management.</li> <li>・ Enhance both oral and written communication skills.</li> </ul>
試験・課題など	<p>Participation: 10%</p> <p>Quizz:15%</p> <p>Mid-Term: 30%</p> <p>Final: 45%</p>
感想を自由記入	この授業では、オペレーションズ・マネジメント（業務管理）の基本的な概念、モデル、ツールについて学びます。学期の終わりには、業務プロセスの設計・管理・改善に役立つスキルとツールを身につけることになります。

#### 履修した授業科目名④

#### COM 351 Marketing Principles and Management

科目設置学部	BCom
履修期間	2022 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 160 分の授業が週 1 回
担当教授	Huachao Gao
授業内容	<p>The main objective of this course is to prepare learners to be effective marketing decisions makers. To achieve this objective, learners need to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Understand, and be able to use, marketing terminology</li> <li>・ Be able to apply marketing theory, concepts, and principles to make key decisions relating to marketing strategy, tactics, and implementation.</li> <li>・ Develop the necessary skills to analyze simple marketing problems and develop solutions consistent with that analysis.</li> </ul>
試験・課題など	<p>Participation: 15%</p> <p>Case Assignment:35%</p> <p>Quiz : 10%</p> <p>Final: 40%</p>
感想を自由記入	SWOT 分析や 4P など、基本的なマーケティング理論について学びます。中間テストはありませんが、その代わりにケーススタディの発表が多くあります。理論だけでなく、実践的にマーケティングを学べる授業です。

#### 履修した授業科目名⑤

#### COM 361 International Business

科目設置学部	BCom
履修期間	2022 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Dr Kristin Brandl
授業内容	<p>The course takes a macro, mesa, and micro perspective and draws on key insights from economics, political science, economic geography, and strategic management. For instance, students will learn about globalization processes, the role of institutions and different political, economic, and legal systems, global trade, investments, monetary systems, and the strategy and structure of international business.</p> <p>The course objectives are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ recognize worldwide dynamics linked to globalization.</li> <li>・ discuss complexities and challenges related to international trade.</li> <li>・ recognize the political, legal and financial environments in an international context.</li> <li>・ evaluate how attractive and challenging different business environments are.</li> <li>・ discuss strategy and structure of international business activities.</li> </ul>
試験・課題など	<p>Case Assignment:25%</p> <p>Quiz : 15%</p> <p>Mid : 25%</p> <p>Final: 35%</p>
感想を自由記入	この授業では、急速に変化し続ける現代の国際ビジネス環境に焦点を当て、その中で生じるさまざまな機会と課題について考察します。
履修した授業科目名⑥	
COM 362 Business and Sustainability	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 1 月から 4 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 160 分の授業が週 1 回
担当教授	Juan Francisco Chavez
授業内容	<p>The course will prepare students to engage with and use concepts, tools, and frameworks commonly used by businesses in the transition to practices that - in addition to addressing traditional financial goals - incorporate social and environmental sustainability into their strategy and operations.</p> <p>Upon successful completion of Com 362, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Recognize and describe the social and environmental issues affecting businesses and society today.</li> <li>・ Identify business organizations as embedded in social and ecological systems.</li> <li>・ Recognize and understand the power of business to negatively or positively affect environmental, social, and economic well-being.</li> </ul>
試験・課題など	<p>Participation:15%</p> <p>Assignments : 30%</p> <p>Mid : 20%</p> <p>Final: 35%</p>
感想を自由記入	企業のサステナビリティ、経営戦略、製品・サービス設計、生産プロセス、ステークホルダーとの関係に関して学びます。

履修した授業科目名⑦	
COM 316 Management Accounting / COM 426 Management Accounting II	
科目設置学部	BCom
履修期間	2022 年 9 月から 12 月、2023 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5、1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回、1 回 160 分の授業が週 1 回
担当教授	Kimball Ketsa、Jennifer Reed
授業内容	<p>COM 316</p> <p>This course is an introduction to the fundamental concepts of management accounting. It complements the concepts covered in COM 315 Financial Accounting, by focusing on the accounting functions internal to the organization. Management Accounting is concerned with the analysis and accounting for costs, management planning, controlling and decision-making. The course provides exposure to cost behaviour, variance analysis, short-run choice decisions and budgeting, as well as activity-based costing and activity-based management. Recognizing the importance of management accounting in an organization and how it is used within the context of the other functions of the company.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Identifying the characteristics and behaviour of costs and the decisions that influence these costs.</li> <li>Using cost/volume/profit analysis, including calculating the break-even point and potential profit in each situation.</li> <li>Identifying and applying different pricing methods.</li> </ul> <p>COM 426</p> <p>This course is a continuation of Commerce 316/317, which introduced management accounting. It is designed to be transferable and satisfy the requirements of other second-level management accounting courses and the requirements of the CPA program. It should also assist the general manager who needs to know more about how accounting information is useful in making daily business decisions.</p> <p>Major topics covered include the terminology and objectives of management accounting, flexible budgets, variances, variable and absorption costing models, cost allocation decisions, joint and byproduct costing, process costing and transfer pricing. Problem-solving and decision-making skills will be practiced through the use of problems and case studies.</p>
試験・課題など	Participation:10% Assignments : 20% Mid : 25% Final:40%
感想を自由記入	各種原価計算システム、製品原価の計算し、それに影響を与える意思決定を分析し、意思決定の文脈の中でそれらを解釈します。なお、活動基準原価計算（ABC）の重要性を理解し、組織の業績評価に活用していきます。KPMG Simulation という、特定の業務（例：監査、リスク評価など）をチーム形式でロールプレイしながら体験するシナリオベースの演習をします。参加者は仮想のクライアント企業の課題に対して、データを分析し、レポートを提出したり、プレゼンを行ったりします。
履修した授業科目名⑧	
COM 371 Management Finance	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 1 月から 4 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません

授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Sorin Rizeanu
授業内容	This course provides an introduction to corporate financial management and the key decisions and issues faced by financial officers in corporations. The course has three major objectives: 1. Provide an introduction to financial markets and the sources of capital for mature firms. 2. Introduce financial policies set by senior managers and show how these policies affect a company's ability to pursue its business strategy and achieve its operational objectives. 3. Demonstrate the analytical tools used to evaluate whether proposed business activities add value to a company. The goal is to ensure all students, regardless of career aspirations, gain an appreciation for the financial issues facing companies and to equip all students with the analytical tools that are used to address these issues.
試験・課題など	Participation:10% Assignments : 20% Quiz : 40% Final:30%
感想を自由記入	この授業では、お金の時間的価値、債券および株式の評価、投資、リスクとリターンおよびポートフォリオ理論、資本資産評価モデル（CAPM）と資本コスト、内部収益率（IRR）に関して学びます。KPMG Simulation の結果による追加点数もありました。
履修した授業科目名⑨	
COM 331 Introduction to Management information	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 1 月から 4 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Andrew Park
授業内容	The course objectives are to teach you to: ・ Understand the role of Information Systems in modern organizations and the fundamental individual, social, managerial, environmental and technical issues that decision makers must be able to address. ・ Gain a basic technical understanding of information systems and how they work. ・ Gain hands-on experience on how to create and modify basic information systems. ・ Think critically about technology, question its merits, consider its drawbacks and anticipate its long term intended and unintended consequences, which is especially important in the current vendor-driven environment. ・ Develop a basic set of tools, frameworks and models for guiding questions and decisions about Information Systems. ・ Create a learning environment that will increase your comfort and familiarity with making smart decisions about technology for your organization.
試験・課題など	Participation:35% Assignment : 5% Mid : 30% Final:30%
感想を自由記入	この授業は、現代の組織における情報システム、テクノロジー、ネットワークの役割について、ビジネス戦略の観点から分析的に考察する力を身につけることを目的としています。授業ではさまざまなアプローチを通じて、これらの要素が今日の強い企業環境において、また一般的なビジネスや起業家的な優位性の確立にどのように効果的に活用できるかを学びます。
履修した授業科目名⑩	

<b>COM 400 Strategic Management</b>	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 1 月から 4 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Sudhir Nair
授業内容	This course is designed to give you a “top-level” view of the entire organization. You will have to consider issues that influence competitive behavior and performance of the organization. So far in your coursework you have primarily studied business functions (e.g., accounting, finance, marketing) one at a time. This course will help you broaden your perspective so that you consider business functions from the perspective of the overall organization.
試験・課題など	Participation:25% Simulation : 35% Mid : 20% Final:20%
感想を自由記入	この授業の特徴としては、CAPSIM（キャプシム）Capstone Simulation を行います。実際のビジネス経営を模した戦略経営シミュレーションです。仮想企業の経営者として、チームで意思決定を行いながら戦略的な経営を実践しました。マーケティング、研究開発、財務、人事など複数の部門に関わり、データに基づいた判断やチーム内での調整を行うことで、実務に近いビジネス経験を得ることができました。
<b>履修した授業科目名⑪</b>	
<b>COM 425 Taxation for Managers</b>	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Alison Jean Parker,
授業内容	This course reviews the fundamentals of the income tax system for all taxpayers. It examines tax planning techniques that maximize cash flow and return on investment. While the course emphasizes business decisions, it also includes personal financial planning issues. Two major objectives of this course are: 1. To enhance your understanding of taxation principles and related concepts. 2. To enable you to develop a critical appreciation of the taxation system, including the ability to assess, explain and evaluate the influence of taxation in corporate decision making.
試験・課題など	Quiz:13% Assignment : 7% Mid : 35% Final:45%
感想を自由記入	この授業では、個人および法人に適用されるカナダの連邦税法と州税法の基本的な仕組みについて学び、課税所得の計算方法や税額控除、税務申告の流れなどを理解します。また、税法の背後にある考え方や、実務での適用例にも触れながら、税務の基礎知識を身につけることを目的としています。

<b>履修した授業科目名⑫</b>
-------------------



COM 450 Intro to Applied AI for Business	
科目設置学部	BCom
履修期間	2023 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 160 分の授業が週 1 回
担当教授	Rishi Behari
授業内容	<p>This course will introduce students to the fundamentals understanding artificial Intelligence, with a focus on how this technology intersects with and influences the world of business. The course objectives are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Understand the basics of how Artificial Intelligence works and is deployed in the context of our evolving world, specific to its intersection with the world of business.</li> <li>・ We will apply and develop a critical analysis of how issues of sustainability and ethics relate to the use of this technology.</li> </ul>
試験・課題など	Quiz:20% Particificaation:30 Assignment : 10% Business Pitch : 40%
感想を自由記入	この授業では、人工知能 (AI) を活用して現代の課題を解決する新しいビジネスアイデアを考案・提案する機会を得ます。
履修した授業科目名⑬	
COM 450 A02 Advanced Management Topics Strategies for Emerging Markets	
科目設置学部	BCom
履修期間	2024 年 9 月から 12 月
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Raveendra ( 'Ravee' ) Chittoor
授業内容	<p>This course seeks to discuss concepts and tools for designing and implementing effective competitive strategies in the rapidly changing global business environment. Emerging markets consist of rapidly growing, but currently low- and medium-income countries in Asia, Africa and Central and South America.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ To challenge you to think critically about various facets of global competition and emerging markets.</li> <li>・ To familiarize you with the problems and perspectives of doing business in emerging markets.</li> <li>・ To foster an appreciation of the external forces that influence and shape the business manager' s job in the global context.</li> <li>・ To assist you in acquiring the skills necessary to analyze, assess, design and implement business strategies and programs that transcend national boundaries</li> </ul>
試験・課題など	Particificaation:20% Assignment : 45% Group Project : 35%
感想を自由記入	この授業は、新興市場の重要性に関して学びます。新興市場で成功するための競争戦略の設計および実行に関する概念やツールを学びます。また、これらの市場が現在経験している急速な変化と、それがグ

	ローバル戦略に与える影響についても探究します。
--	-------------------------